

令和2年度八戸学院大学 卒業生に関するアンケート 集計結果報告

調査期間：令和2年9月2日～令和2年9月30日

調査対象：平成29年度・平成30年度・令和元年度卒業生就職先（看護学科平成29年度は短期大学部）

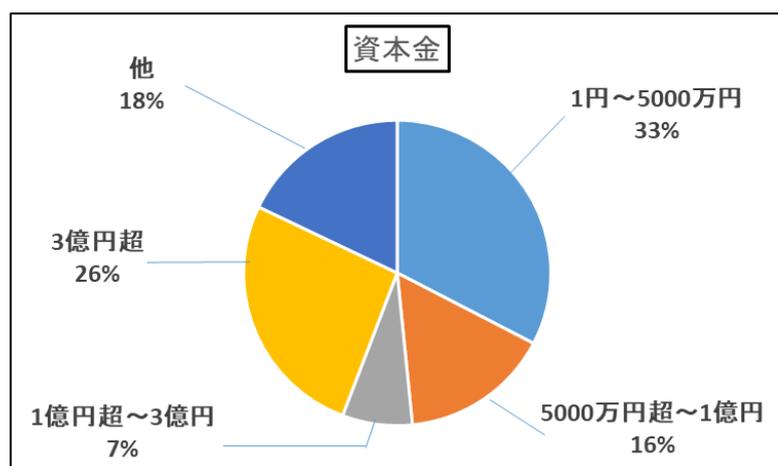
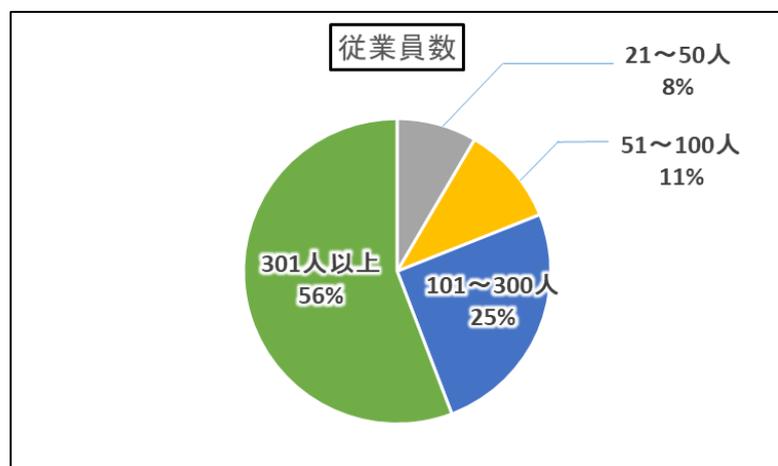
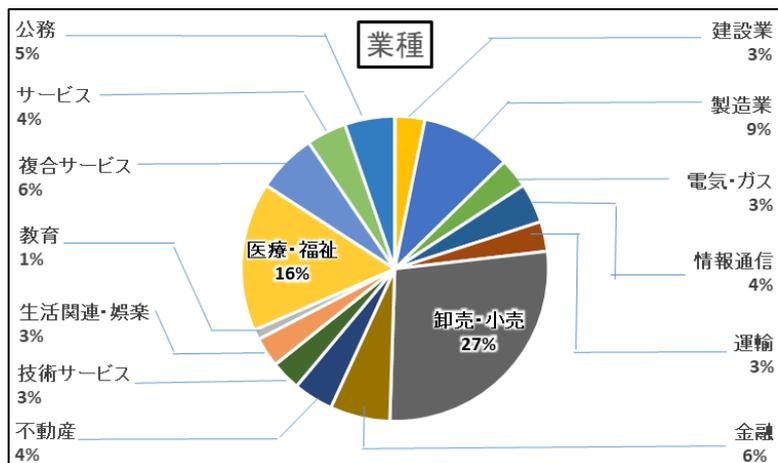
調査方法：ビジネス学科、人間健康学科、看護学科の過去3年間の卒業生就職先へアンケート依頼文を送付し、ホームページの回答用紙をダウンロードのうえ、FAX、メールで回答をいただいた。

回答数：ビジネス学科・人間健康学科対象 231社依頼⇒95社回収（回収率41%）

看護学科対象 44施設依頼⇒15施設（回収率34%）

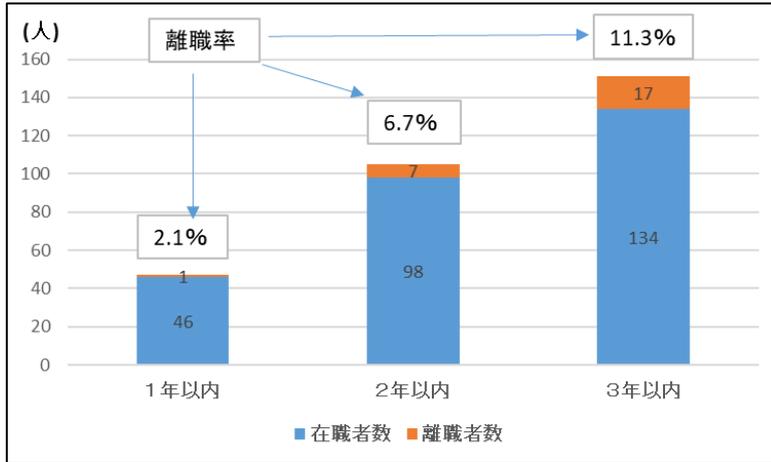
□ビジネス学科・人間健康学科対象アンケート結果

回答をいただいた企業の内訳は以下の通りである。

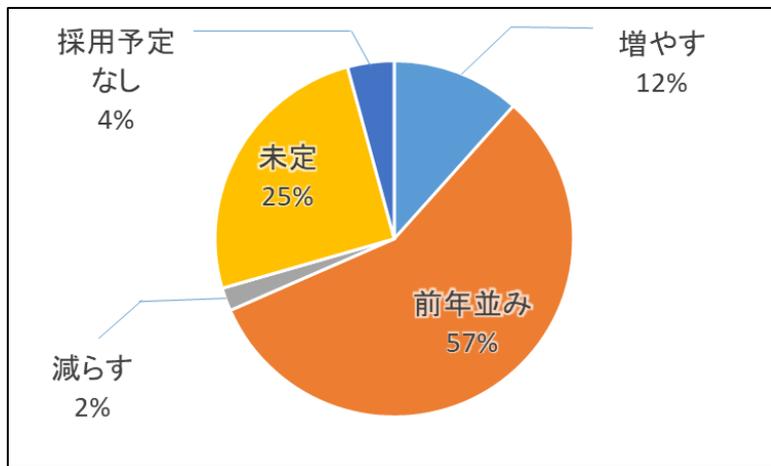


1. 離職率

3年以内離職率は11%となっており、前回調査時の15%より改善がみられた。



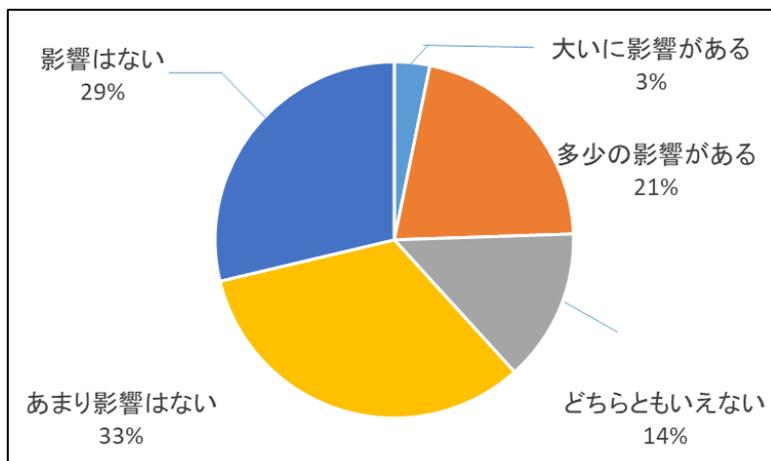
2. 次年度の採用予定



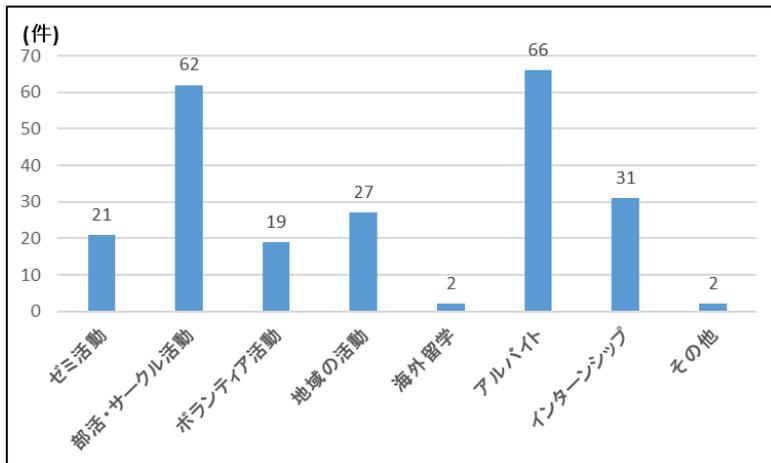
次年度の採用予定に関しては、増やすと前年並みを合わせて約7割と少なからず採用意欲の継続が見込まれるが、未定の企業も25%あり、採用市場の動向を注視していく必要がある。

3. コロナウイルスの影響

コロナウイルスによる賃金体系や福利厚生面への影響についての回答は以下の通りとなっており、25%の企業が影響ありと回答してる。業種によっても格差は見られるが、今後幅広い業種で影響が拡大していく事が懸念される。

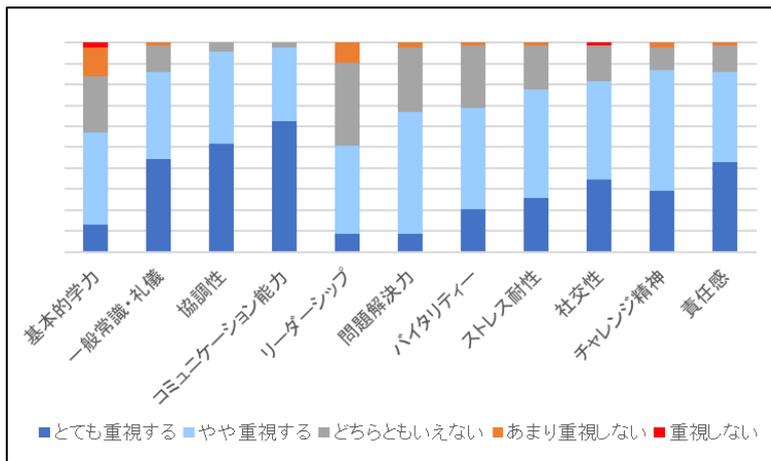


4. 学生時代に経験しておいてほしい事



学生時代に経験しておいてほしい事では、アルバイト、部活・サークル活動が上位を占める結果となった。部活・サークル活動については、実際にアスリート学生向けの就活サイトが展開され、アスリート学生を強く求める企業も少なくない。この要因としては、アスリート学生の身につけている礼儀正しさや困難を乗り越える力などが評価されていると考えられる。

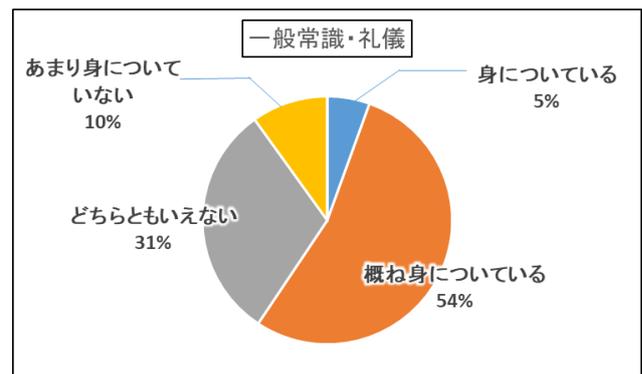
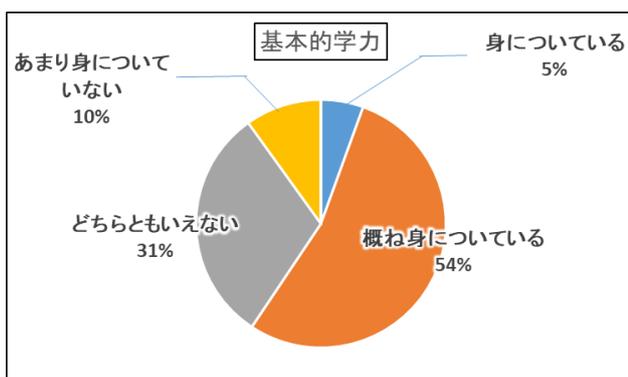
5. 採用に当たり重視する点

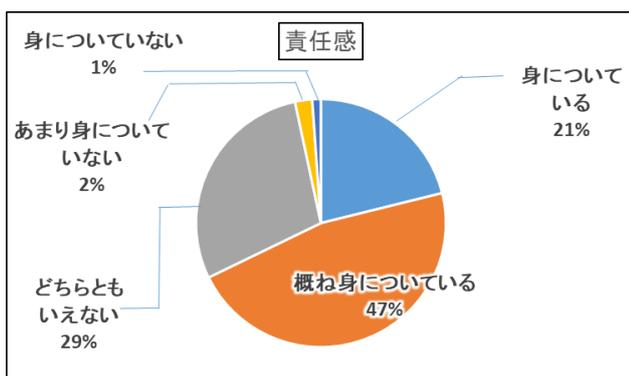
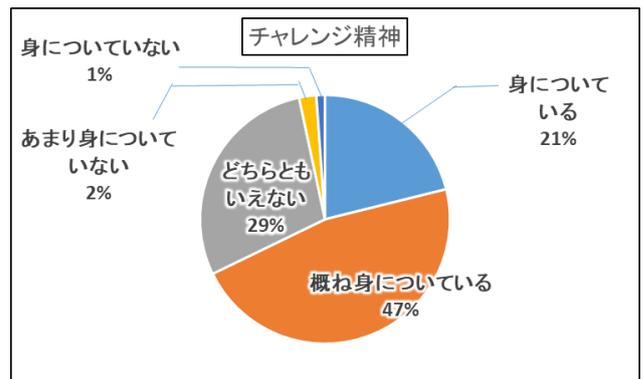
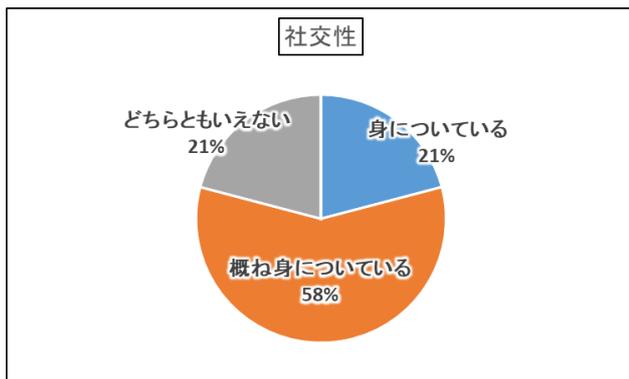
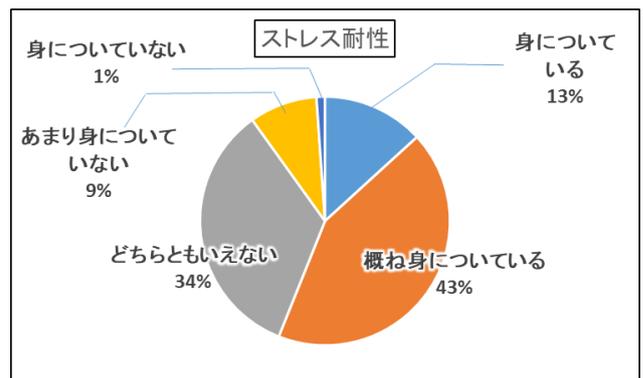
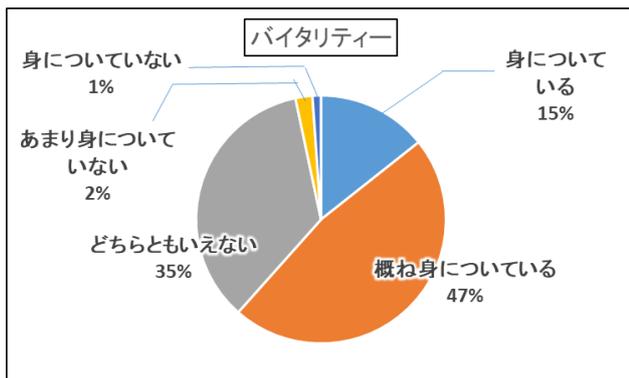
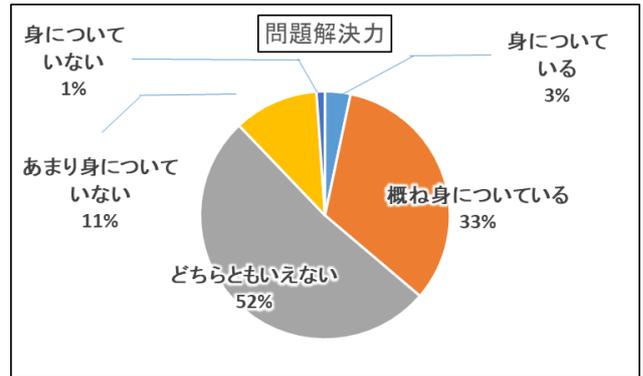
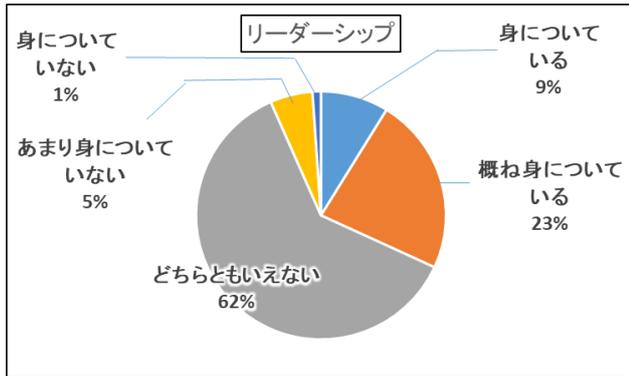
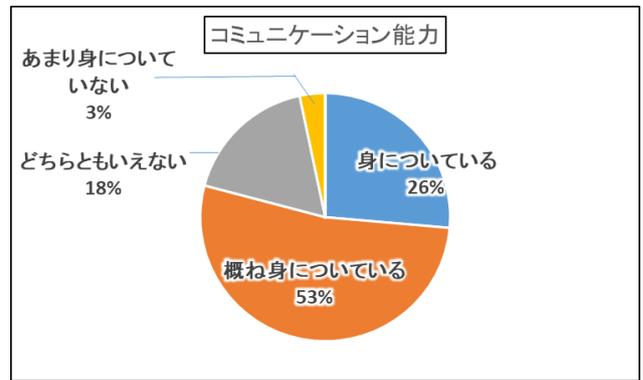
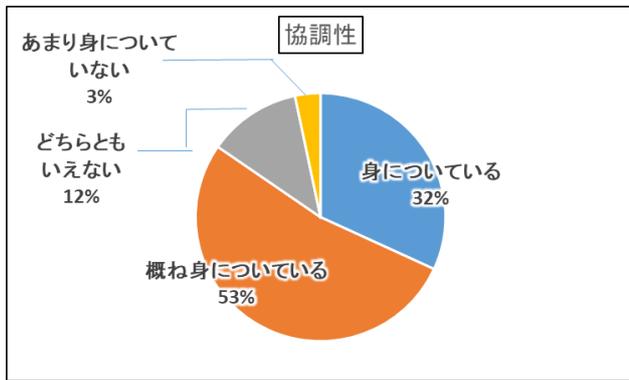


採用に当たり重視する点では、コミュニケーション能力、協調性が上位となっている。これについては様々な調査と同様の結果が出ており、今後もこれらのスキル向上を含めたキャリア教育が求められる。

6. 本学卒業生の評価

上記5の項目についての本学卒業生の評価は以下の通りである。

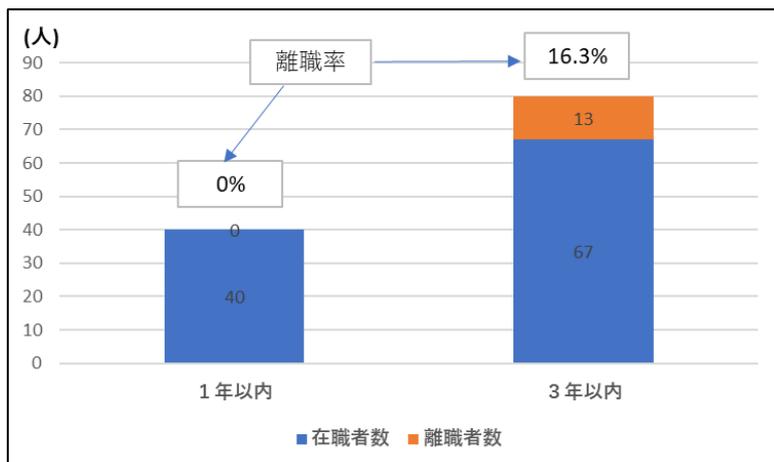




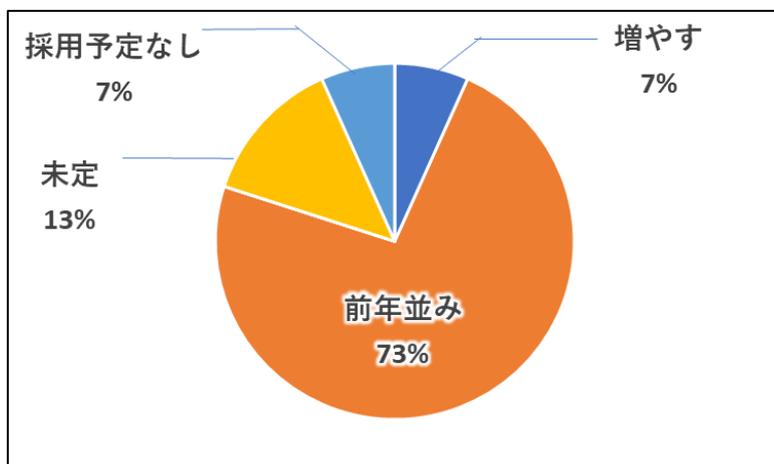
企業が学生に強く求めている「コミュニケーション能力」、「協調性」の項目については概ね高い評価を得ており、社交性についても高い評価を得ている。一方、評価の低い「リーダーシップ」や「問題解決力」については今後のキャリア教育の課題になると考えられる。

□看護学科対象アンケート結果

1. 離職率

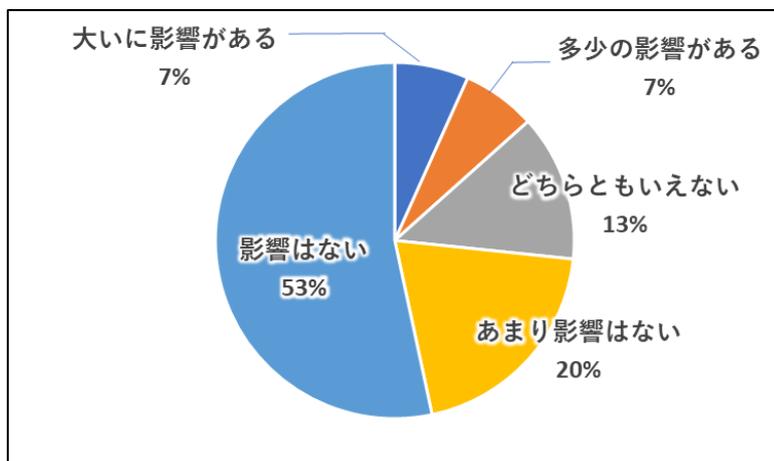


2. 次年度の採用予定



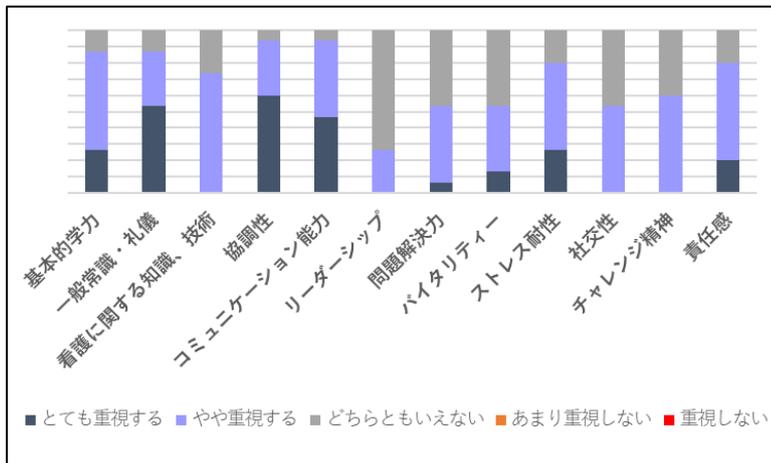
次年度の採用予定に関しては、増やすと前年並みを合わせて80%と採用意欲の継続がうかがえるが、採用予定なしと回答している施設も7%あり今後地域や規模によって両極化してくるのではないかと考えられる。

3. コロナウイルスの影響



賃金体系や福利厚生面への影響があるとの回答は14%であるが、一部施設の給与、賞与減額がニュース等で報じられており、来年度以降の入職者へ影響することも考えられる。

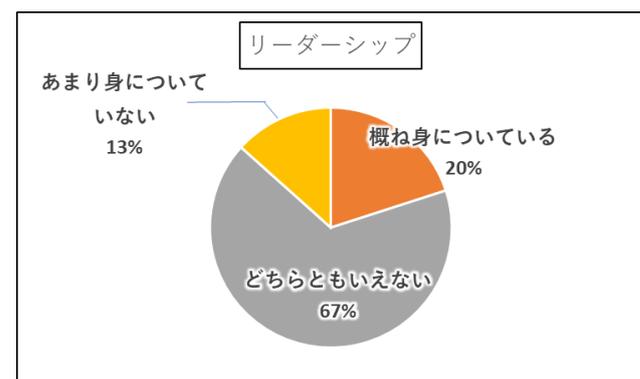
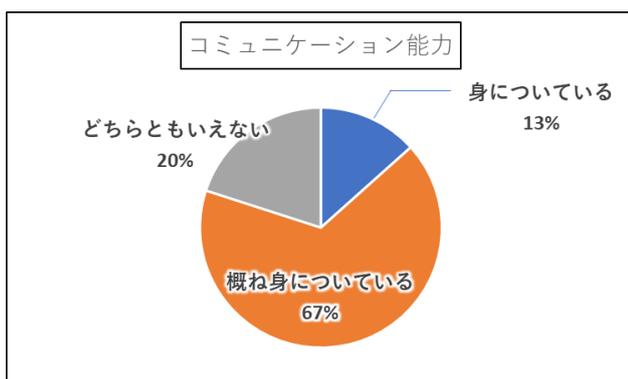
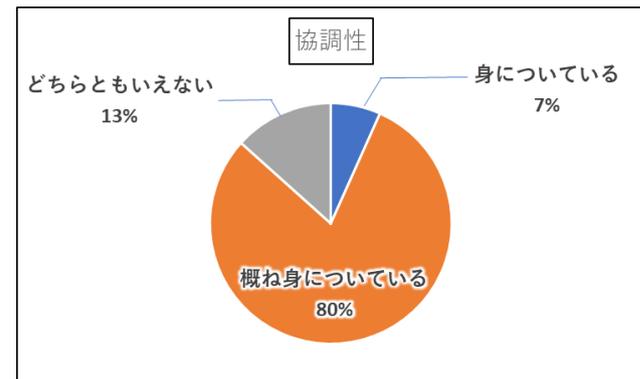
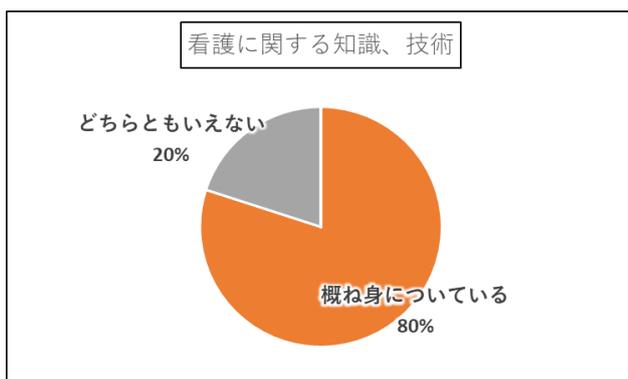
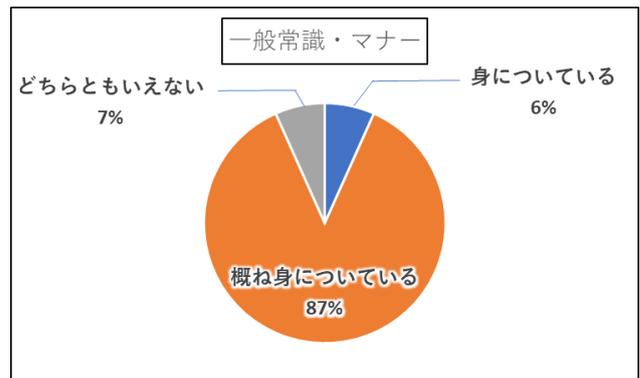
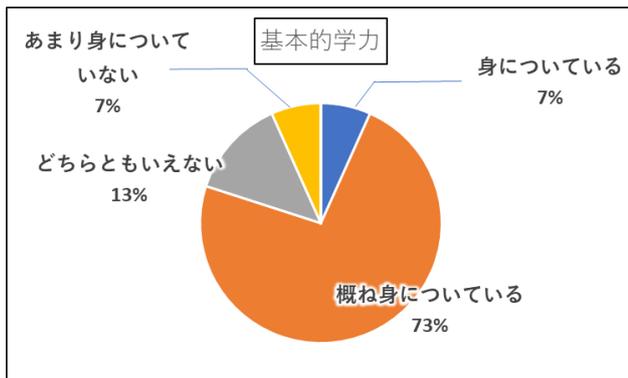
4. 採用に当たり重視する点

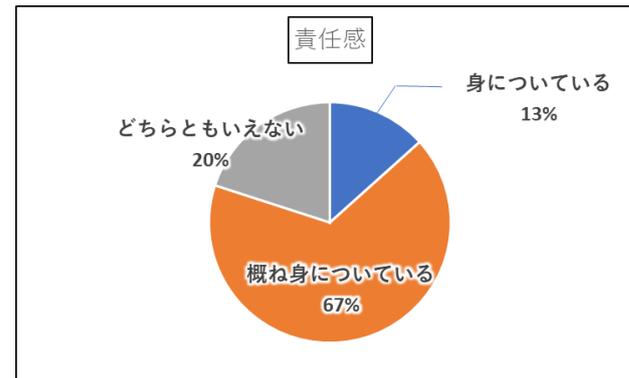
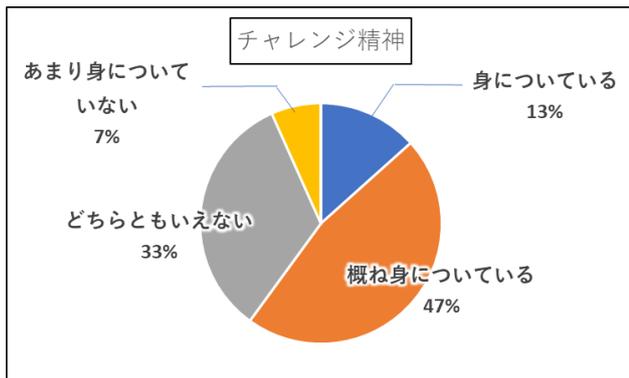
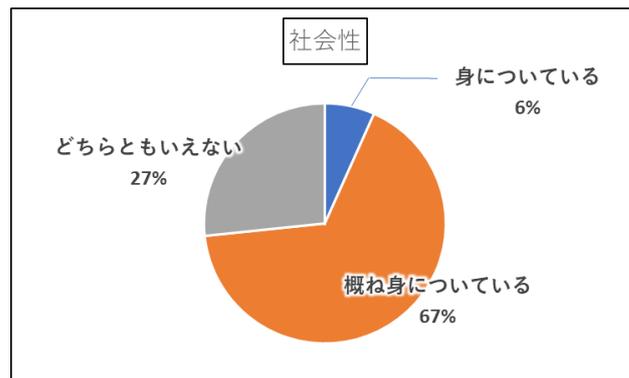
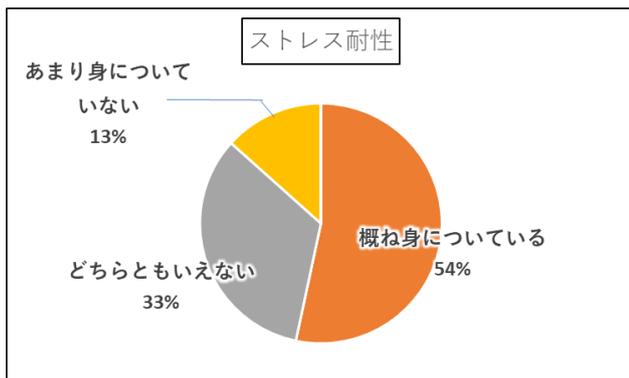
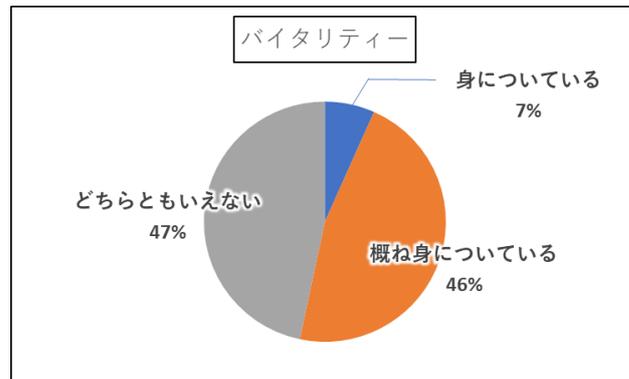
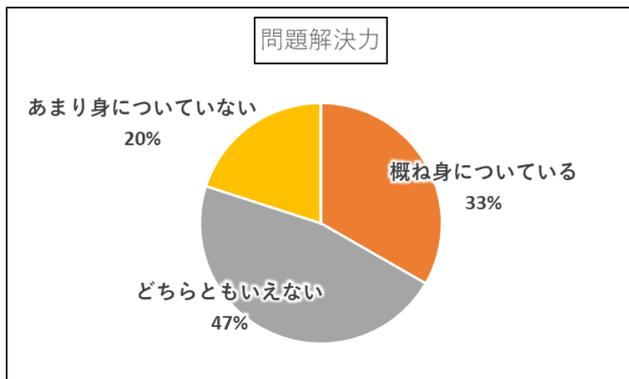


採用に当たり重視する点では、協調性、コミュニケーション能力が上位となっている。一般企業向けの調査でも概ね同様の結果となっており、業種によって大きな違いはない事が見て取れる。

5. 本学卒業生の評価

上記5の項目についての本学卒業生の評価は以下の通りである。





施設が学生に求めている「コミュニケーション能力」「協調性」「一般常識・マナー」の項目については、概ね高い評価を得ている。一方、評価の低い「リーダーシップ」や「問題解決力」については、採用にあたり重視する点と同様の傾向であった。